

無言館

戦没画学生慰霊美術館

未来へ思いをつなげる
長編ドキュメンタリー映画

乾かぬ絵具

六十年も経つというのに
あなたの絵具は
ちっとも乾いていない

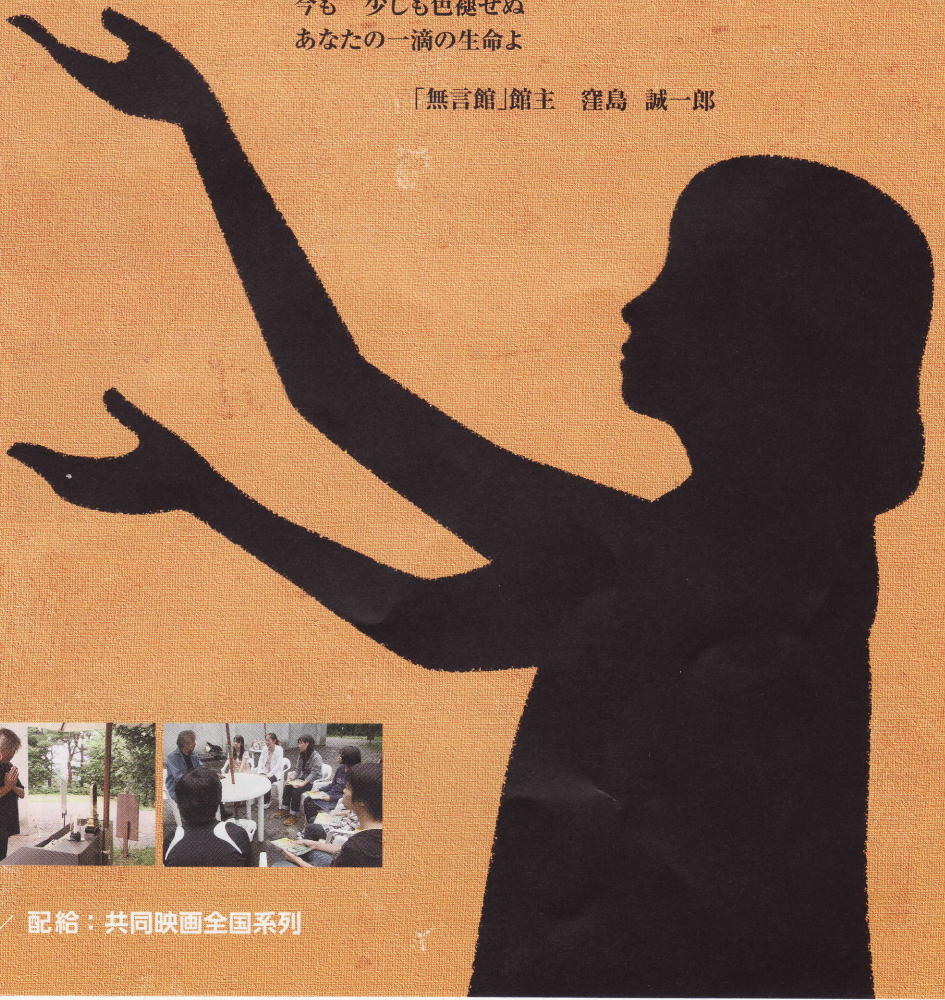
あなたの描いた絵の朱は
まるで 昨日の夕日を見るように
鮮やかで 美しい朱だ

あなたの描いた一本の線は
まるで あの日のあなたの決意を見るように
真っすぐで ためらいのない線だ

六十年経った今も
ちっとも乾いていない あなたの絵具は
あなたが今も そこに生きていることを
私たちに教えてくれる
鮮やかな 生命の色だ

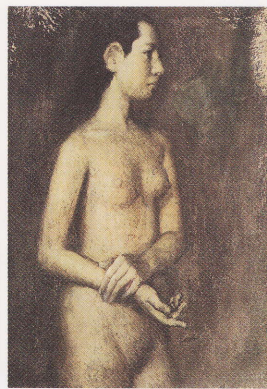
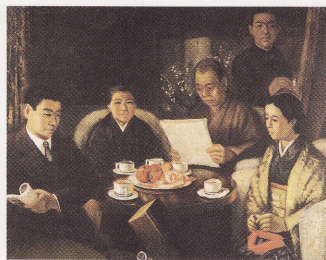
乾かぬ絵具よ
今も 少しも色褪せぬ
あなたの一滴の生命よ

「無言館」館主 窪島 誠一郎



企画・製作：新映株式会社 / 配給：共同映画全国系列

いのち あかし 「生命の証」をきざみこんで戦地に発った若者たち「無言館」それは愛の美術館



無言館

—長編ドキュメンタリー映画—
戦没画学生慰霊美術館



解説

長野県上田市、周りを山々に囲まれた田園地帯の丘の上に、ひっそりとたたずんでいる小さな美術館「無言館」。

静まり返った「無言館」の扉を押すと、志を果たさず戦場に散った画学生たちの声が聞こえてきます。絵描きになりたいと願いながら、一枚の画布、一冊のスケッチ帖に「生命の証」をきざみこんで戦地に発った若者たち。

「無言館」館主窪島誠一郎さんは、その画学生たちの遺した作品、遺品を全国各地に訪ね、収集しました。描きかけの絵からは、「人が人を愛すること」、「生命あるすべてのものを愛すること」への願いが、静かに伝わってきます。「無言館」はそういう美術館なのです。「こういう時代だからこそ、彼らが生きていた証を守ること、いのちの大切さを、戦争を知らない世代に伝えていかなければならない」と窪島さんは語ります。

開館以来、「無言館」では毎年八月になると、彼らの無念を弔う慰霊祭「千本の絵筆」の供養がおこなわれます。



- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|--------|----------------|----------------|-------|--------|-------|-------------|--------|-------------|-------------|-------|-------|------|--------|-------|------|-------|------|--|
| 企画・製作 | 監修 | 現像所 | スタジオ | 製作協力 | 上映協力 | 撮影協力 | 製作デスク | ナレーション | 朗読 | 歌 | 音楽 | 編集 | 録音 | 照明 | 撮影 | 監督補 | 脚本・監督 | 製作 | |
| 新映株式会社 | 窪島 誠一郎 | 株式会社 ヨシネティアイエー | 株式会社 東京テレビセンター | 鈴木 文夫 | 新宿武蔵野館 | 天満 敦子 | 一般財団法人「無言館」 | 宇津木 昭代 | 若井 なおみ(俳優座) | 岩崎 加根子(俳優座) | 佐藤 真子 | 十河 陽一 | 大高 勲 | 清水 亮太郎 | 森口 大督 | 岡 元太 | 宮木 辰夫 | 柳澤 実 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |



若井 なおみ



佐藤 真子



窪島 誠一郎

助成 文化芸術振興費補助金
日本/2011年/カラー/35ミリ/ビスタ/DTS/86分

「いのちの山河」に続き、
待望の劇場公開決定！ **5月14日土～6月10日金**

新宿駅直結の映画館

JR 新宿駅中央東口 三越裏 武蔵野ビル3階
TEL : 03-3354-5670
http://shinjuku.musashino-k.jp

各回入替 / 整理券制

新宿武蔵野館

■ 特製ポストカード付(数量限定) 特別鑑賞券1,300円(税込) 絶賛発売中!
【当日料金】 一般 1,800円 / 学生 1,500円 / 小中学生・シニア 1,000円 ※上映時間は劇場までご確認ください。
★ 劇場上映終了後、地域上映も予定しています。 お問合せは、共同映画株式会社 TEL03(5466)2311まで

